丸亀市こども家庭センター連携相談窓口
利用者支援事業基本Ⅰ型

2026年 秋号

にこっと通信

「にこっと」は、丸亀市の０歳から１８歳までの子育て中の保護者の相談・情報提供・連携を行う窓口です。臨床心理士等、専門性を活かした子育て相談を行っています。
個別相談や地域子育て支援拠点への出張相談、思春期座談会等を行っている専門相談員の子育てコラムを順番にお届けします。

お問い合わせ・申し込み
NPO法人 グランマール
利用者支援事業 基本型 にこっと
@NPO.GRANMAR
ひまわりセンター2階　9:00～12:00　13:00～16:00
(0877)85-8810　FAX (0877)85-8811
nicotto.npo@gmail.com　https://www.nicotto-granmar.com/

3つのWが心を育てる
～見て、待って、言葉にする～

臨床心理士
公認心理師
樽本（たるもと） 美穂（みほ）



私の子ども時代は、単語の意味を国語辞典、昆虫や植物の名前を図鑑で調べていました。最近は、スマホで画像を撮り、AI機能を使って、数秒でわからないことが解決できる時代になりました。のんびりと生活している私は、スピーディで目に見えないAI機能を信頼していいのか不安に思うことがあります。でも「こんなことを聞いてみよう!」と自分で考えることを後回しにして、すぐヒントをもらうことが多くなってきました。

先日、タブレットを使って情報を検索している授業を参観する機会がありました。慣れた手つきで操作する子どもたちを見て、AI時代に育つ子どもたちの目と手の動きに驚かされました。自分が知りたい情報をキーワードとして入力し、淡々と表情を変えることなく画面を見て操作している子どもたち。心の動きは、どのようなものなのでしょうか?

国語辞典や図鑑のページをめくり、時間をかけて、自分の調べたいものを見つけていた子ども時代の私。授業中の単語調べは、早く見つけたら勝ち組です。競争のように「あった!」と歓声をあげている子がたくさんいました。また、知らなかった情報を「なるほど。そういうことか。」と納得する感覚が自然に湧き上がっていたようにも思います。

今後、デジタル教科書が導入されれば、タブレットの活用が多く見込まれます。例えば、卵から成虫になるまでの昆虫の育ちを観察する動画では、肉眼で見れない細かな体のつくりを拡大してリアルに見ることができるでしょう。知らないことの発見は、心が動きます。そして、子どもの心の動きを言葉にする機会をもち、大人がじっくり聞き取ると、言葉を育てることにつながるのではないでしょうか。

保育参観では、虫かごを持って昆虫を探し、図鑑で名前を調べる子どもたちがいました。いきいきとした目で飼育ケースをのぞきながら、飼っている昆虫の事を一生懸命説明してくれた子どもたち。手で触れ、肌感覚でその昆虫のはかなさを味わい、「ぎゅーと握ったらいかんで!」と他児に注意している光景も見ました。本物に触れる体験が言葉を育てていることを実感しました。また、興味関心のある昆虫の話題は、子ども同士の対人コミュニケーションを活発化させているように思えました。

生まれて間もなく、目と耳と鼻と肌感覚がつながり、心の動きを生み出していきます。言葉として発するのは、感じていることのほんの一部分です。年齢に関係なく、モノを見た時や人と関わった時に、自分の感じたことをありのまま、不安なく、言葉として表現する機会をもてることは、心理的な安定感につながります。

〈Watch〉モノや人の様子を見る
〈Wait〉待って、じっくり見る、感じる
〈Word〉思いや気持ちを言葉にする

3つのWを実践するためには、ゆっくりとした時間の流れが必要です。時には、オリジナルな自分の心の動きを感じ、心を育ててみませんか。

（参考資料:子どもの心を育てる親子の関わり　日本赤十字社医療センター小児科･小児保健部　2024）

NPO法人グランマールの活動理念に賛同していただき、継続して寄付をいただいています。
•富士産業株式会社　•大倉工業株式会社　•四国化成ホールディングス株式会社
•株式会社伏見製薬所　•琴参バス株式会社



子育ては、喜びとともに、不安や悩みが伴います。戸惑うことも多かったり、思ったように進まなかったり、真剣だからこそ悩んだり落ち込んだりします。子育ての協力隊をつくりながら、自分自身や子ども、それぞれの家庭にあった子育てをしていくことは大切です。困ったとき・相談したいけどもう少し様子をみようかと迷う時にも、**「にこっと」**にご連絡ください。

臨床心理士等の専門相談員との相談、適切な機関に繋がる手助け、子育ての情報提供を行います。

事業予約制

～ 専門相談員が週3～4日 半日常駐しています ～

個別相談
来所相談・Zoom相談・電話相談を行っています。専門相談員が相談をお受けします。
相談時間50分
*Zoomアプリの取り方、Zoom相談の手順はホームページに掲載しています。



メール相談
ホームページメールフォームからお送り下さい。

思春期相談日
非行等、思春期の相談に対応します。

保育・教育相談日
各年5回、元保育士・元小学校教員が対応します。

出張相談
専門相談員が地域子育て支援拠点（子育て支援センターや子育てひろば等）に出張し、座談会形式で子育ての悩みや、不安について、助言を受けることができます。希望者には、個別相談も実施しています。

思春期からの子育て相談会
小学校高学年以降の子どもの保護者対象。専門相談員がコーディネーターとなって、少人数グループでの相談を年5回週末に行います。
11/28(土) R9.2/6(土) ・10:00～12:00

入学相談会
入学に際しての不安や心配に対応します。臨床心理士・学校教育課主任指導主事とのグループ相談です。
R9.1/26(火) ・10:00～12:00

LD相談会
LD（学習障害）・学習につまずきのあるお子さんの保護者のための相談会
11/25(水) ・10:00～12:00 ・定員5名

※他の方の相談が入っているため待っていただいたり、ゆっくりお話していただく場所がない状況も考えられますので、まずお電話にてご連絡ください。

保育・教育相談日
保育… 保育所長の経験がある先生が個別に対応します。
12/10(木) R9.2/18(木)
・13:20～・14:40～

教育… 特別支援教育・LDの学習支援に詳しい元教員の先生が個別に対応します。
R9.1/22(金)
・13:20～・14:40～

※まずはお電話ください。



思春期相談日
12/15(火) R9.2/16(火)
・13:20～・14:40～

香川県NPO基金、丸亀市市民活動ステップアップ補助事業、NPO法人グランマール出資にて、所属の専門相談員15名が執筆し、**「子育てを支える専門家から子どもを育てているみなさんへ」**を作成しました。

こちらからダウンロードできます。



にこっとのHPで動画 岡田先生「子どもが輝く魔法の対応 ほめるコツ、叱るコツ」

にこっと通信のバックナンバーもご覧いただけます。

子育てコラムもご覧いただけます。

丸亀市子育て支援情報パンフレットの発行

- Vol.1 妊娠・出産
- Vol.2 相談
- Vol.3 ひとり親支援・手伝ってほしい時
- Vol.4 障がい児支援
- Vol.5 子どもを預かってほしい
- Vol.6 お出かけしよう
- Vol.7 幼稚園・保育所・こども園 入園・入所の方へ
- Vol.8 小学校・中学校 入学・在学の方へ
- Vol.9 離学者・家族支援



にこっとホームページからダウンロードできます。
市役所2階・3階、ひまわりセンター1階・2階に設置しています。

地域連携

- 子育て支援センター等へ出張し、子育ての話をしたり、座談会、個別相談等を行います。
- 地域子育て支援拠点事業等への講習を行っています。

情報提供・啓発

- 相談時の情報提供
- にこっと通信の発行
- にこっとホームページ

感染症予防について

※来訪する方の中に、発熱・咳などの症状がある時。
※お子さんが通う園、学校等が学級閉鎖になっている時。（電話相談に切り替え可能です）
※インフルエンザについては、発症した後5日を経過、かつ解熱（37度以下）した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで。（学校保健安全法施行規則第19条より）
コロナウイルスについては、発症の翌日から5日間を経過、かつ症状が軽くなってから1日経過するまで。（文部科学省の省令改正より）

来所相談を希望されている方で上記にあてはまる場合は、来所をお控えください。Zoom相談や電話相談に切り替えることもできます。キャンセルされる場合は、新たに予約をお取りします。ご連絡ください。

お知らせ 「あだぁじぉ」から「にこっと」への移行について

令和7年度、丸亀市に「こども家庭センター」ができました。その関係で「子育て支援総合相談窓口まる育サポートあだぁじぉ」はなくなり、「丸亀市こども家庭センター連携相談窓口利用者支援事業基本I型」の一つとして「にこっと」という名称で、相談や情報提供等を行っています。総合相談窓口ではなくなり、事業規模は小さくなりましたが、専門性を活かした形は継続しています。事務所はひまわりセンターの2階に移動し、「ほっぺ」と「にこっと」の事務所が一緒になります。（電話番号は変わっていません。）

以下、お願いです。
・プライバシーを守るため、まずはお電話を掛けてください。
・予約時間の5分前には来ていただくと助かります。

名称、場所の変更により、ご不便をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いします。

次回の通信は2027年春頃に発行します。お楽しみに!